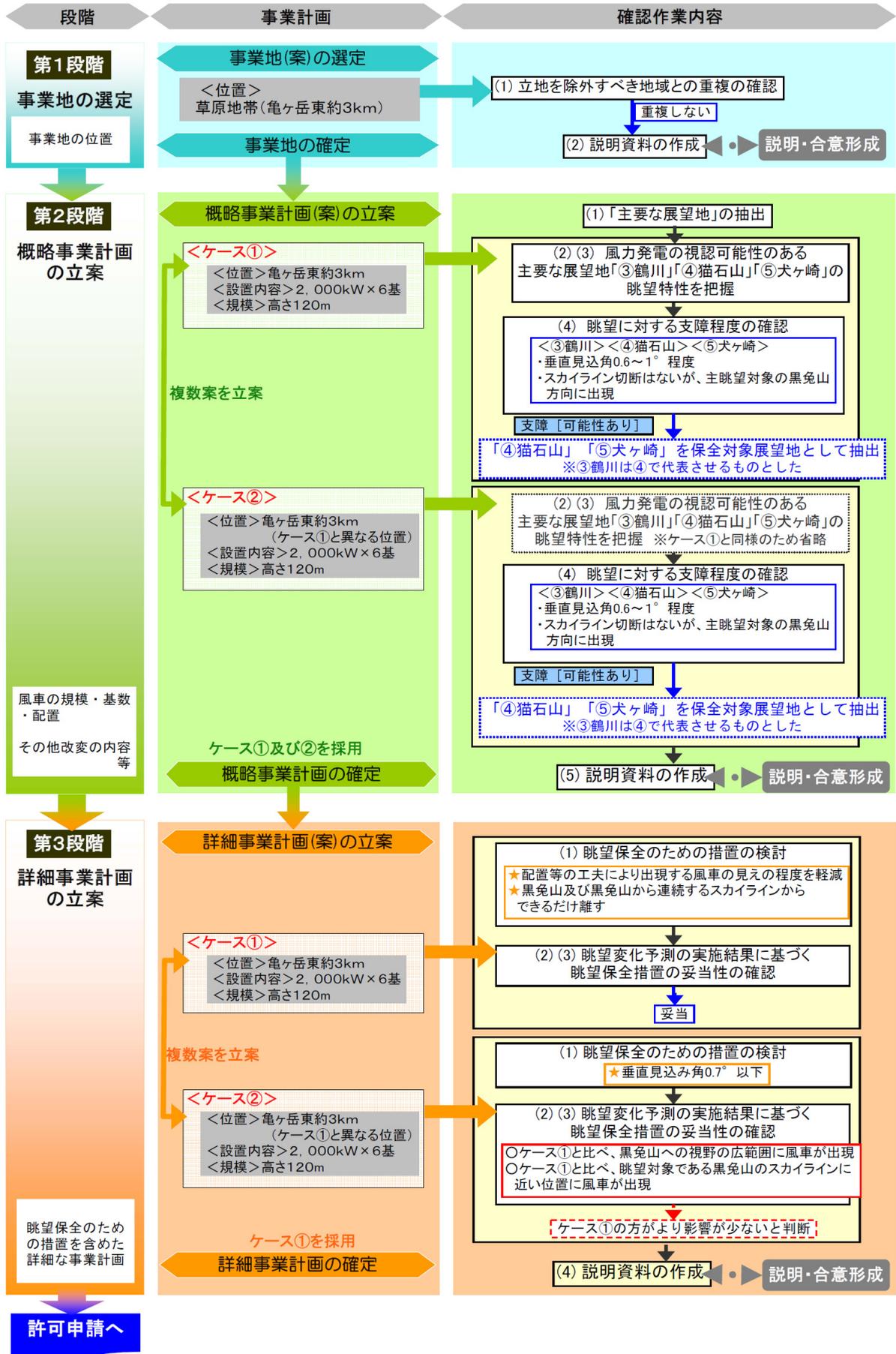


3.草原地帯

・草原地帯において、以下の手順でケーススタディを実施した。実施結果を以降に示す。



第1段階 事業地の選定

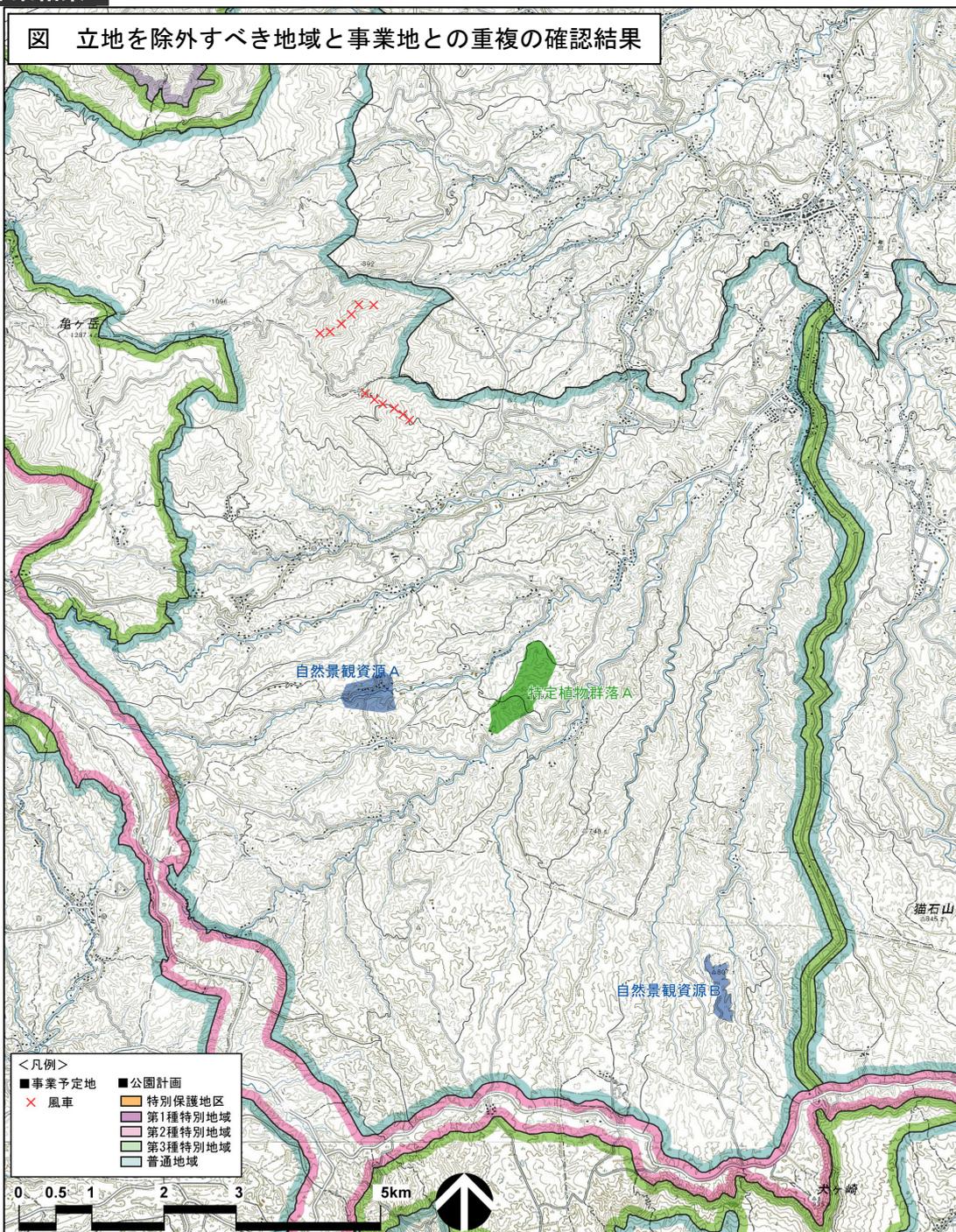
(1) 立地を除外すべき地域との重複の確認

作業解説

- ・事業地として、仮想国立公園内 A山集団施設地区の北側約2kmの地点を選定した。
- ・国立公園の公園計画図や特定植物群落等の分布と重ね合わせた結果、事業地は風力発電施設の立地を除外すべき地域を回避していることを確認した。

⇒確認結果について関係主体との合意形成を図った上で「第2段階：概略事業計画の立案」へ進む。

作業結果



第2段階 概略事業計画の立案

(1) 主要な展望地の抽出

作業解説

- ・「主要な展望地」として、公園計画書や管理計画書、その他の展望利用の状況から、以下の図表に示す公園利用施設を抽出した。

作業結果

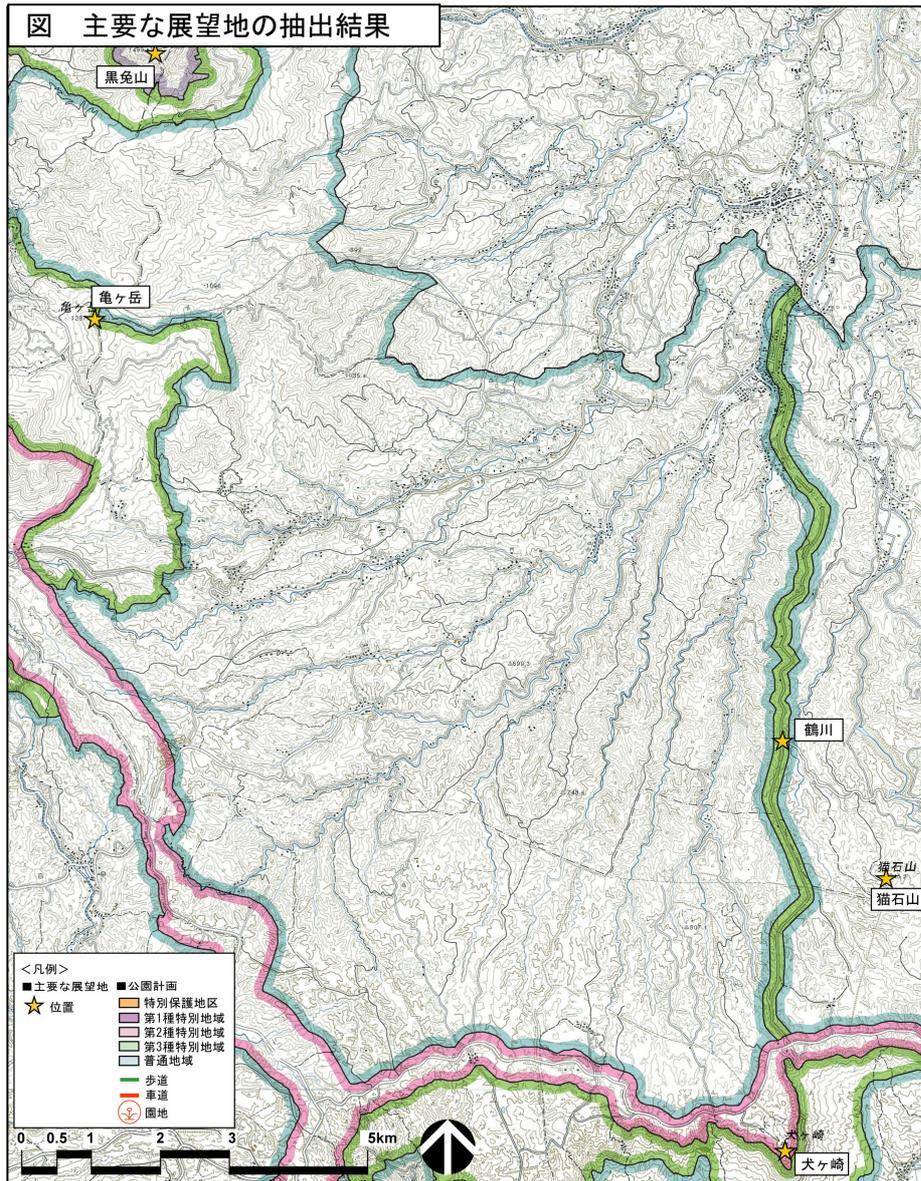


表 主要な展望地リスト

番号	名称	距離 (m)	公園計画	抽出の観点		
			種別	公園計画*1	管理計画*2	その他展望利用
①	亀ヶ岳	3,100	歩道黒兔山線	—	○	山頂
②	黒兔山	4,475	歩道黒兔山線	○	○	山頂
③	鶴川	7,475	単独施設 (園地)	○	○	
④	猫石山	9,875	歩道猫石山線	—	○	山頂
⑤	犬ヶ崎	12,125	単独施設 (園地)	○	○	

*1 : 公園計画において、「眺望利用」「風景観賞」がうたわれているものに○

*2 : 管理計画において、「主要な展望地」として保全方針が記載されているものに○

(2) 主要な展望地からの風力発電施設の視認可能性の確認

解説

- ・第1段階で決定した位置を踏まえ、風車の規模・基数・配置を設定し、下記のとおり概略事業計画(案)を立案した。

《ケース①》

■概略事業計画

発電出力	2,000kw	ハブ高	80m	ロータ径	80m	ロータ天端高	120m	基数	6基
------	---------	-----	-----	------	-----	--------	------	----	----

